

平成25年度遠野市歳入歳出決算 及び基金の運用状況審査意見

第1 審査の対象

- 1 平成25年度遠野市一般会計歳入歳出決算
- 2 平成25年度遠野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- 3 平成25年度遠野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- 4 平成25年度遠野市介護保険特別会計歳入歳出決算
- 5 平成25年度遠野市ケーブルテレビ事業特別会計歳入歳出決算
- 6 平成25年度遠野市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
- 7 平成25年度遠野市下水道事業特別会計歳入歳出決算
- 8 上記各会計の歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書、基金の運用状況調書

第2 審査の期間

平成26年7月7日から平成26年8月22日まで

第3 審査の方法

提出された資料に基づき決算状況の聴取を行うとともに、各会計の歳入歳出決算書及び政令で定める附属書類並びに基金の運用状況調書について、関係法令の規定に準拠して作成されているかを確認し、これらの書類の計数が正確に表示されているかについて会計諸帳簿及び証書類との照合を行い、各会計の決算状況等について審査した。

また、財務規則等の規定に基づき会計事務処理が適正に処理されているかについても審査した。

第4 審査の結果

審査に付された平成25年度歳入歳出決算書及び政令で定める附属書類並びに基金の運用状況調書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、また、計数は、証拠書類と符合し適正であると認められた。

昨年度支払遅延が多数見受けられた会計事務処理状況については、支出証拠書類により審査したが、かなり改善されたと認められる。今後とも内部チェック体制の強化に努め、適正な事務執行を期待する。

第5 審査意見

平成25年度歳入歳出決算書及び基金の運用状況等の審査意見等は、後述のとおりである。

1 平成25年度決算審査意見

《2040年までに20～39歳の女性の数が49.8%の市区町村で5割以下に減少し、推計対象の全国約1800市区町村のうち523市区町村では人口が1万人未満となって消滅するおそれがある。》日本創生会議・人口減少問題検討分科会が平成26年5月に発表したこの推計は基礎自治体のあり方について様々な議論が交わされるきっかけとなったが、同時にそれは市民に対し、例えば若者に魅力のある地域づくりについて、中高年

